



FlexOperations  
Software Suite

 QuickLogCollector

# QuickLogCollector リリースノート

Version 2.1.0

横河レンタ・リース株式会社

作成日 2017年08月15日

© Copyright 2017 Yokogawa Rental & Lease Corporation

© Copyright 2017 横河レンタ・リース株式会社

本書は著作権によって保護される内容が含まれています。本書の内容の一部または全部を著作者の許諾なしに複製、改変、及び翻訳することは、著作権法下で許可事項を除き、禁止されています。

#### 横河レンタ・リース株式会社

◆ 新宿本社

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 4 階

TEL : 03-5908-1675 (代表)

◆ 武蔵野本社

〒180-0006

東京都武蔵野市中町 1-19-18 武蔵野センタービル 3 階

TEL : 0422-60-1111 (代表)

## 目次

1. 仕様 .....	4
2. QuickLogCollector v2.1.0 .....	5
2-1. 機能強化 .....	5
2-1-1. ノードテンプレート登録機能の追加 .....	5
2-1-2. FOP WindowsAgent の.NET framework バージョン拡張 .....	6
2-1-3. Windows エージェントの収集時自動配布・削除機能の追加 .....	6
2-1-4. 情報収集時コメント機能の追加 .....	7
2-2. アップデートについて .....	7

## 1. 仕様

このリリースノートでは、FlexOperations Software Suite 製品、 QuickLogCollector v2.1.0 のリリースについて記載しています。

本書には、以下ソフトウェアのリリースに関する情報が記載されています。

- ・ QuickLogCollector v2.1.0

対応製品のバージョンについては、別途「QuickLogCollector ユーザーガイド」を参照してください。

## 2. QuickLogCollector v2.1.0

本章では、QuickLogCollector に関する機能強化、修正点、互換性、制限事項、対策などに関する情報を記載しています。

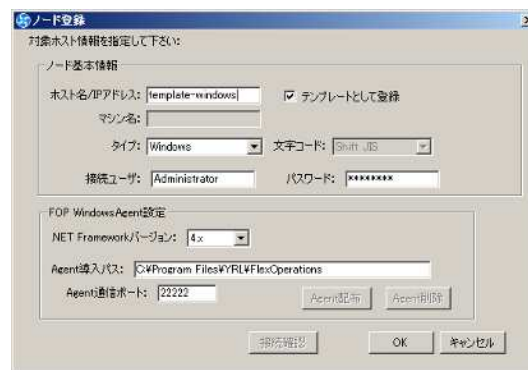
### 2-1. 機能強化

QuickLogCollector v2.1.0 では以下の機能拡張が加えられています。

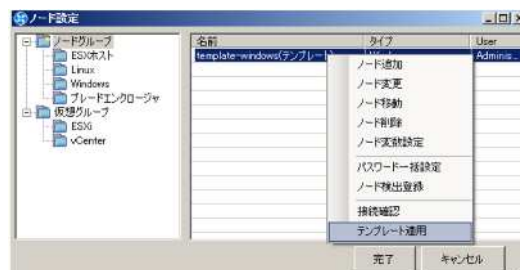
#### 2-1-1. ノードテンプレート登録機能の追加

QuickLogCollector のノード登録において、ノード設定をテンプレートとして用意しておくことで同一設定のノードを一括登録する機能が搭載されました。

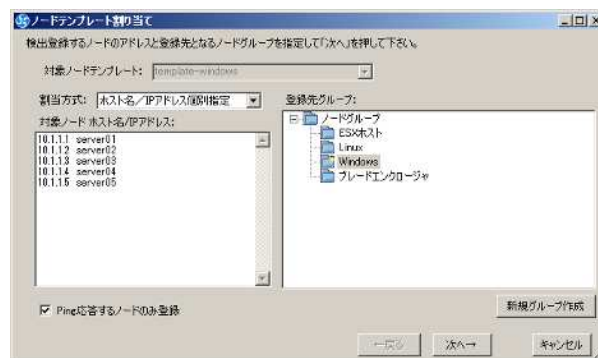
テンプレート機能を利用するには、まず通常のノード登録で、「テンプレートとし登録」として諸パラメータを設定して登録します。



テンプレートを利用するには、使用するテンプレートを選択して、右クリックメニューから「テンプレート適用」を選択します。



テンプレート適用画面が表示され、登録するノードのアドレス群と登録先ノードグループを指定することでノードを一括登録出来ます。



登録対象ノードについては、アドレス一覧指定の他に、IPアドレスを範囲指定しての登録も可能です。



### 2-1-2. FOP WindowsAgent の.NET frameworkバージョン拡張

Windows ノードを制御するために導入される FOP WindowsAgent が、.NET Framework4.x に対応しました。

これにより、Windows2008/2012/2016 OS において、別途 .NET Framework2.x/3.x を導入する必要はなくなりました。

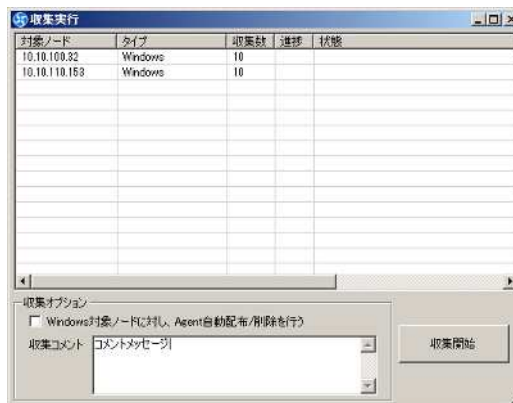
### 2-1-3. Windowsエージェントの収集時自動配布・削除機能の追加

Windows ノードに対する情報収集を行う際のオプションとして、収集時にオンデマンドで FOP Agent を配布し、収集完了後に自動削除する機能が追加されました。

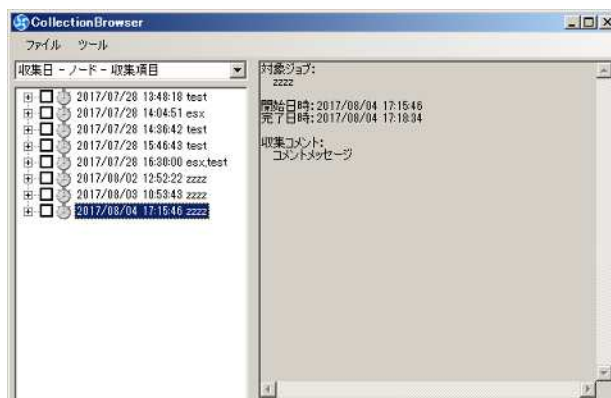


#### 2-1-4. 情報収集時コメント機能の追加

手動操作による情報収集を行う際のオプションとしてコメントを添付する機能が追加されました。



添付されたコメントは、収集データ表示画面から確認可能です。



#### 2-2. アップデートについて

QuickLogCollector 2.1.0 へのアップデート方法は以下となります。

以下手順で、過去の設定は新バージョン環境へ自動的に引き継がれます。

□QuickLogCollector アップデート手順

QuickLogCollector を終了します。

タスクマネージャのプロセスで、[fop\_qlc.exe]が存在しないことを確認します。

(必要に応じて) QuickLogCollector がインストールされたフォルダの

[QuickLogCollector.conf]を別名保存します。

[fop\_install.exe]を実行し、アップデートします。

以上